

2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年11月19日



イメージ情報開発株式会社

大証ヘラクレス：証券コード 3803

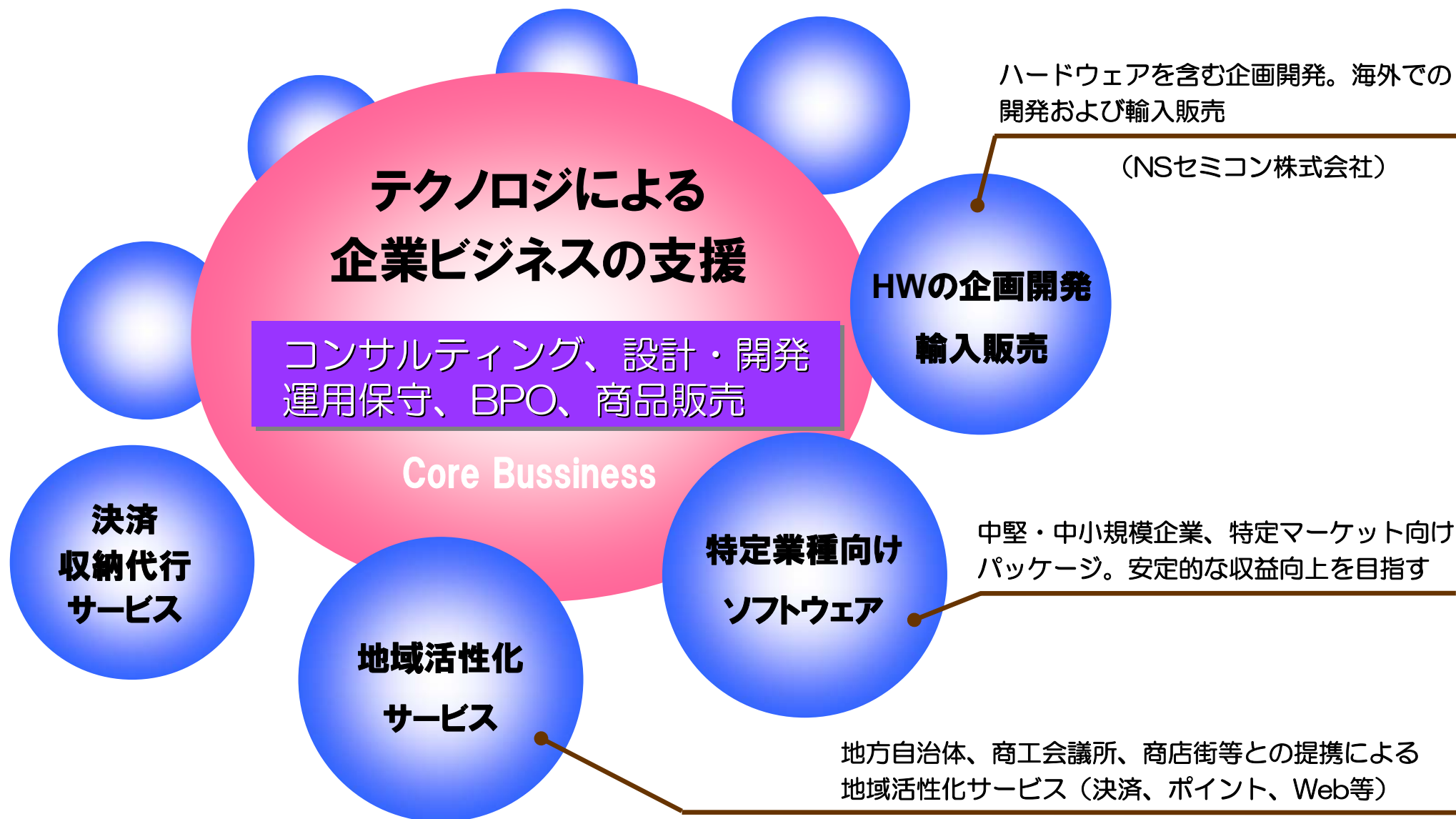
I グループ概要

II 2010年3月期 第2四半期の決算概要

III 2010年3月期 通期の見通し

【設 立】	1975年（昭和50年）10月
【代 表 者】	代表取締役社長 代永 拓史
【資 本 金】	4億6,705万円
【事 業 内 容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都港区芝大門2-10-12
【事 業 所】	名古屋営業所：名古屋市中区錦3-1-30
【子 会 社】	1社（NSセミコン株式会社）
【沿 革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年4月 コンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年9月 インターネットデータセンター開設 平成18年4月 大阪証券取引所ヘラクレスへ株式上場 平成19年5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年7月 NSセミコン株式会社を子会社化

- システム開発を中心とした総合サービスによる『企業ビジネスの支援』、シナジーの得れる製品・サービスで構成します。



【事業内容】

アジア圏におけるデジタル機器の企画・開発・販売

現在は1stステージ。商材・販売チャネルの構築中

【案件例】

- LED照明の**制御ソフト開発**
- カーステレオ・DPF等の**輸入販売**
- DVB-Tモジュール開発 (DVD+ヨーロッパ規格デジタルTVチューナー)
- ラジオチューナー**IC販売**



Street Lighting Fixture Design, 2009



Road Lighting Fixture Design, 2009



I グループ概要

II 2010年3月期 第2四半期の決算概要

III 2010年3月期 通期の見通し

■ 当第2四半期業績(連結決算)

◎ 売上高 314百万円

世界的な景気悪化、企業のシステム投資抑制・投資時期の先送りによるシステム案件の減少・下期への期ずれにより、大幅減

◎ 経常損失 31百万円

組織の見直し等、管理体制の強化によりプロジェクト利益率向上、販管費抑制はできたものの、売上減少をカバーできず損失

NSセミコン株式会社の子会社化により、負ののれん(37.7百万円)が発生。8月より3年間で償却

※7月にNSセミコン株式会社を子会社化、第2四半期より連結決算にて開示

※本資料における第2四半期業績は、第2四半期累計期間(各年4月1日～9月30日)の業績です。

■ 事業方針と進捗状況

◎ テクノロジを核とした総合事業体へ

⇒ NSセミコン株式会社を7月に買収。ハードウェア、制御系ソフト、アジアの製造・販売チャンネルに強み。LED等を使った新たなソリューションを計画中

◎ 新規顧客開拓・新規商品開発

⇒ 営業強化を行い攻勢をかけるも、景気の動向もあり難航

⇒ 中堅・中小企業向けの安価なソリューション構築を開始。特定業種向け基幹業務パッケージを開発

◎ ストック型ビジネス(BPO、運用、サービス)の拡大

⇒ 商工会議所向けシステムをSaaSで提供、大手会議所を中心に導入を推進

⇒ 医療機関向けシステム・BPOサービスの検討を開始

■ 経営インフラの強化を実施

◎ 管理体制の強化

全社組織の見直し、管理部門体制の強化とプロジェクト管理体制を強化
不採算プロジェクトの低減（原価率低減）

◎ 内部統制、コンプライアンス

子会社の取得・連結に伴い内部統制システム、コンプライアンス体制を変更

◎ 情報セキュリティ

セキュリティ管理体制強化、プライバシーマークの更新、PCIDSS対応を検討
下期に実施予定

■ 資本政策

◎ 自社株買の実施

2009年2月26日から2009年9月18日迄に68株取得。買付総額7.1百万円

■ 前期比で、売上52.8%減、赤字転落(単体)。第2四半期より連結

<連結>

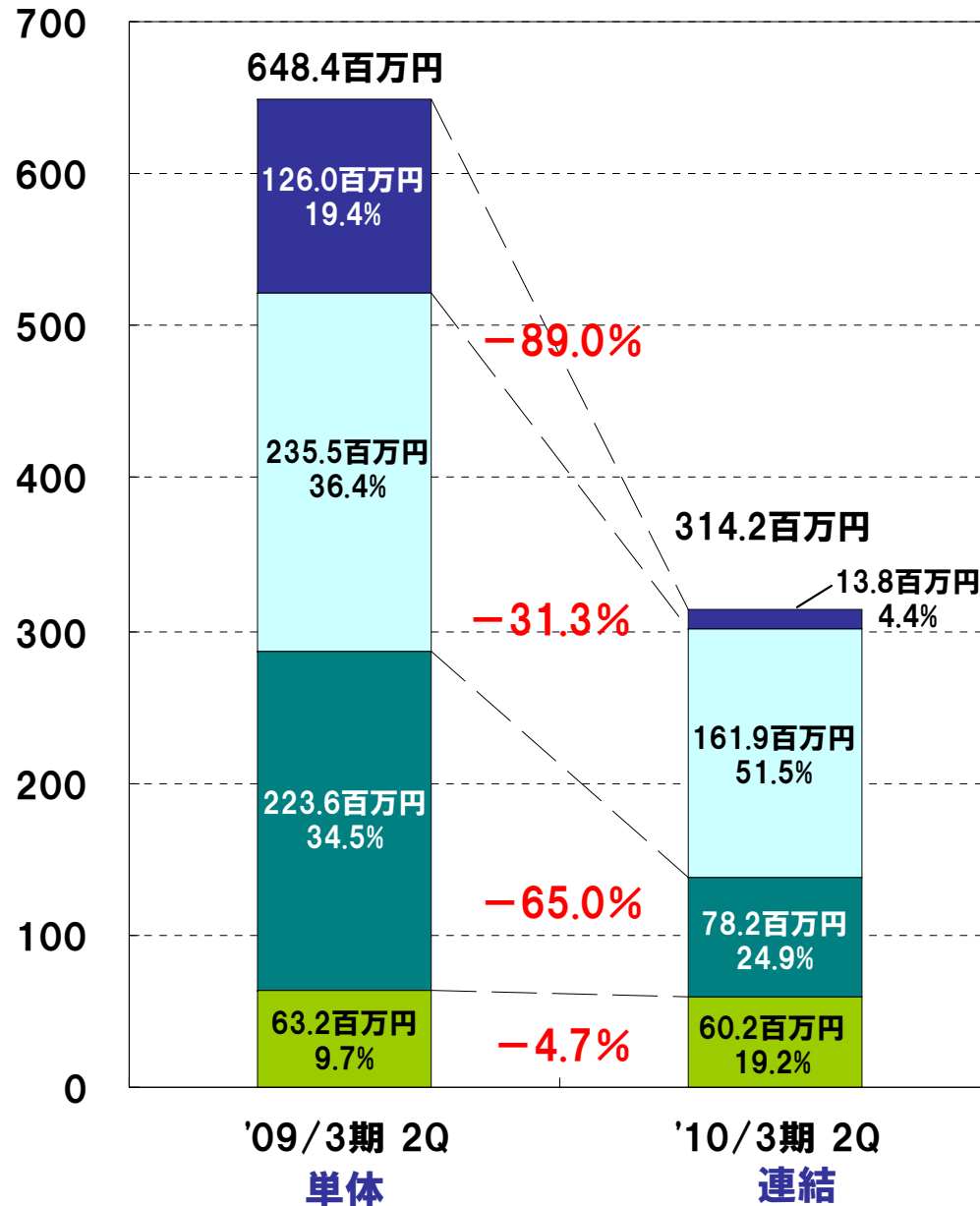
<単体>

【単位：百万円】

	'10/3期 2Q	'09/3期 2Q	'10/3期 2Q	対前期比	
	実績 (連結)	実績 (単体)	実績 (単体)	増減	増減率 (%)
売上高	314	648	306	△341	△52.7
売上総利益	119	176	112	△64	△36.6
販管費	157	155	146	△9	△6.0
営業損益	△38	21	△34	△55	—
経常損益	△31	23	△28	△52	—
当期純損益	△35	23	△31	△55	—

- ✓ 売上減：景気悪化、顧客企業の経営環境変化に伴う受注減・期ずれ等の影響により大幅な売上減
- ✓ 経常損失：売上の減少の影響を多大に受け、原価抑制（粗利率の向上）、販管費抑制及ばず、赤字決算

【単位:百万円】



商品販売

運用/保守

コンサルティング/設計/開発

景気悪化による企業の設備投資抑制が影響。特に新規顧客、新規システム案件の受注が低調

商品販売を含む大型案件の受注遅れにより、商品販売・商品保守・開発がいずれも減少、下期へのずれ込み

BPO/サービス

安定的な収益のサービスであり、顧客数等も伸びているが、商店のカード売上に比例して当社売上があがる決済サービス等については、景気悪化の影響を受け減少

【単位：百万円】

		'09/9.30
資産合計		1,274
	流動資産	990
	固定資産	283
負債合計		231
	流動負債	94
	固定負債	136
純資産合計		1,042
負債純資産合計		1,274

- ✓ 流動資産：現預金797百万円、受取手形・売掛金149百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券162百万円、敷金保証金50百万円、有形固定資産32百万円
- ✓ 流動負債：賞与引当金32百万円、前受金20百万円、買掛金10百万円
- ✓ 固定負債：退職給付引当金102百万円、負ののれん34百万円
- ✓ 純資産：資本金467百万円、資本剰余金510百万円、利益剰余金168百万円、自己株式△95百万円

【単位：百万円】

	'09/3.31	'09/9.30	増減	増減率 (%)
資産合計	1,294	1,237	△57	△4.4
流動資産	912	942	30	3.3
固定資産	382	294	△87	△22.8
負債合計	189	191	2	1.0
流動負債	92	88	△3	△3.8
固定負債	96	102	5	5.6
純資産合計	1,105	1,046	△59	△5.3
負債純資産合計	1,294	1,237	△57	△4.4

- ✓ 流動資産：現預金増170百万円、有価証券減100百万円（償還）、売掛金減37百万円
- ✓ 固定資産：投資有価証券減104百万円（償還200百万円/取得96百万円）、無形固定資産（ソフトウェア等）増19百万円
- ✓ 負債：買掛金減18百万円、賞与引当金増11百万円、前受金増14百万円
- ✓ 純資産：繰越利益剰余金減52百万円、自己株式取得による減7百万円

【単位：百万円】

	‘10/3期 2Q
営業活動によるキャッシュフロー	43
投資活動によるキャッシュフロー	192
財務活動によるキャッシュフロー	△26
現金及び現金同等物の増加額	209
現金及び現金同等物の期末残高	394

- ✓ 営業活動CF：税引前四半期純損失 36百万円、売上債権減少 75百万円、仕入債務減少 28百万円
- ✓ 投資活動CF：有価証券償還収入100百万円、投資有価証券償還収入 200百万円
- ✓ 財務活動CF：配当金支払 19百万円、自己株取得による支出 7百万円

【単位：百万円】

	‘09/3期 2Q	‘10/3期 2Q	増減
営業活動によるキャッシュフロー	14	17	3
投資活動によるキャッシュフロー	15	179	164
財務活動によるキャッシュフロー	△24	△26	△2
現金及び現金同等物の増加額	6	169	163
現金及び現金同等物の期末残高	473	355	△118

- ✓ 営業活動CF：税引前純損失 33百万円、売上債権減少 32百万円、前受金増加 14百万円（商品保守関連等）
- ✓ 投資活動CF：有価証券・投資有価証券償還による収入 300百万円、投資有価証券取得 95百万円、子会社株式取得 11百万円
※子会社株式取得（NSセミコン株式会社）は連結では相殺消去
- ✓ 財務活動CF：配当金支払 19百万円、自己株取得による支出 7百万円

- I グループ概要
- II 2010年3月期 第2四半期の決算概要
- III 2010年3月期 通期の見通し

■ 上期に強化した体制のもと、プロモーション強化と新規サービスの立上げに注力

【単位：百万円】

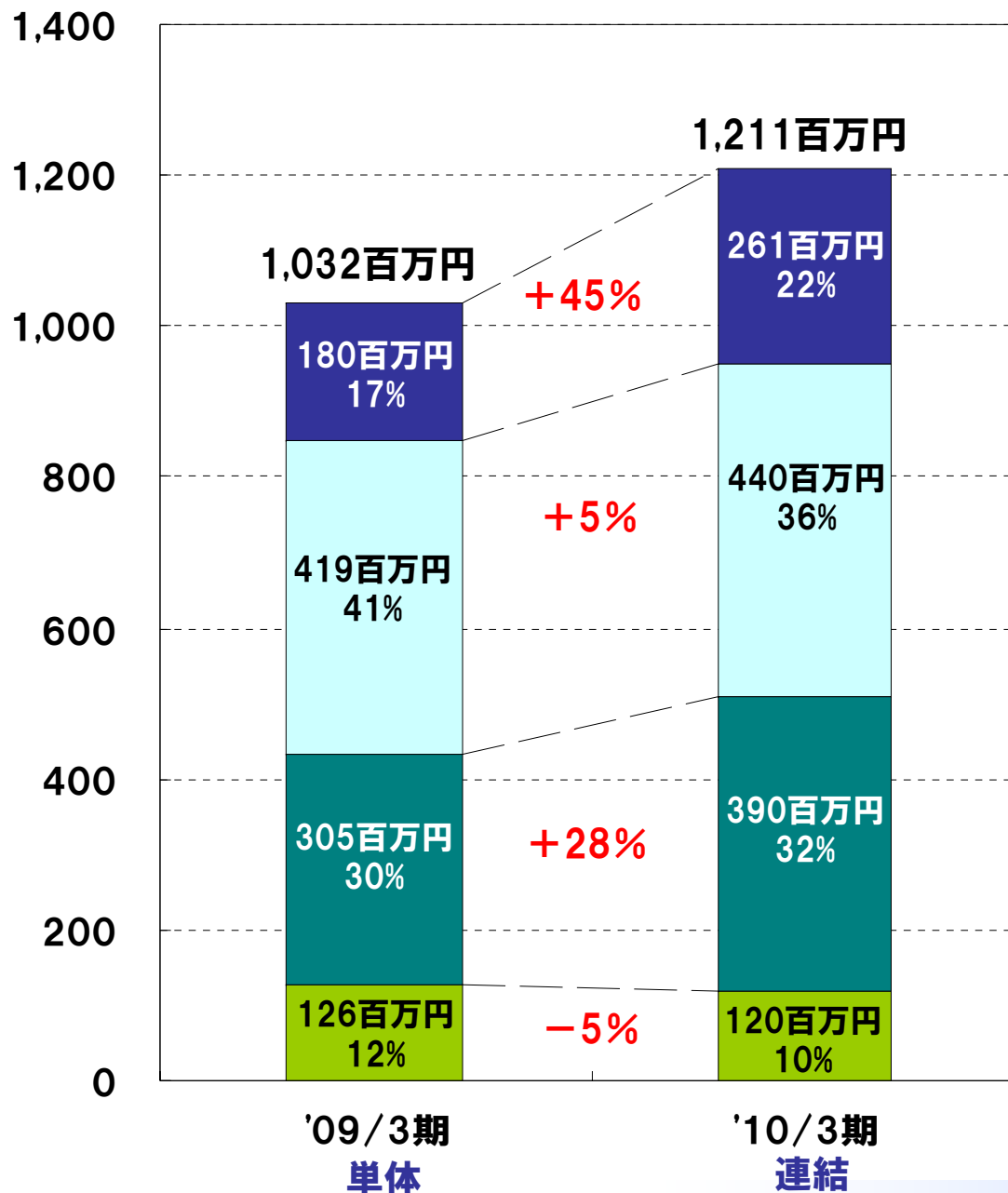
	‘09/3期 単体 (実績)	‘10/3期 計画 (連結)			
		上期 (実績)	下期	通期	前期比%
売上高	1,032	314	897	1,211	—
営業利益	38	△38	68	30	—
経常利益	55	△31	81	50	—
当期純利益	48	△35	59	24	—

- 営業力とプロジェクト実施能力の強化
⇒ 人材の確保・教育
- 管理体制の強化（上期に実施）
- 情報セキュリティ
⇒ 上期に実施したセキュリティチェック計画の実施、Pマーク更新
- 新規サービス推進
⇒ 上期に開発した製品のプロモーション強化
- 新規サービスの開発

2010年3月期の計画(売上構成)



【単位:百万円】



商品販売

クレジット会社の大型案件受注、新規開発のソフトウェアパッケージ販売開始、ハードウェア輸入販売により増収見込み

コンサルティング/設計/開発

上期は景気悪化もあり極めて厳しい状況であったが、上期の営業強化の結果として下期の見込み案件が増加

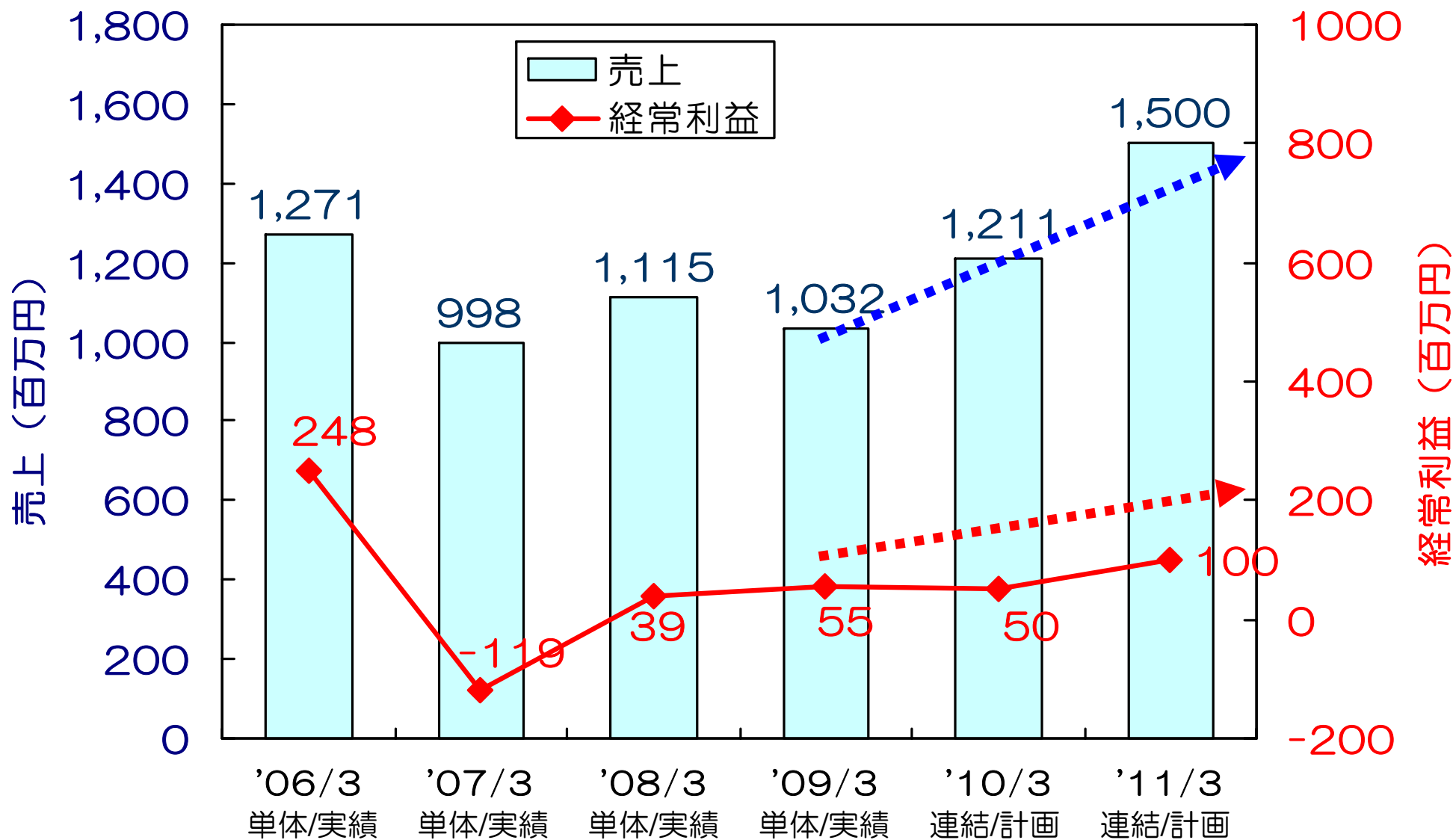
運用/保守

新規システムの販売に伴い、製品保守の売上が増加

BPO/サービス

顧客数の拡大を見込むが、顧客店舗売上に比例する決済サービスの売上が景気悪化により大きく減少。全体では前年を若干下回る見込み

■ 年20%の増収、年30%の増益(経常利益)を目指します。



本日は、ありがとうございました。

<お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

経営管理室 ジェネラルマネージャー 百瀬 哲

TEL : 03 - 5733 - 5631

FAX : 03 - 5733 - 6038

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。